

秦野市議会



議会だより

発行者：秦野市議会議員 **やひろ伸二**

連絡先：〒259-1304 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

http://members2.jcom.home.ne.jp/shinji.yahiro/

議会報告

平成24年 秦野市議会 第2回定例会が開催されました！

秦野市議会第2回定例会(6月議会)が6月7日から28日の会期で開催され、市長提出議案8件などを審議・決議し閉会しました。主な議決内容以下の通りです。

1. 議員定数2削減が決定(26⇒24名)

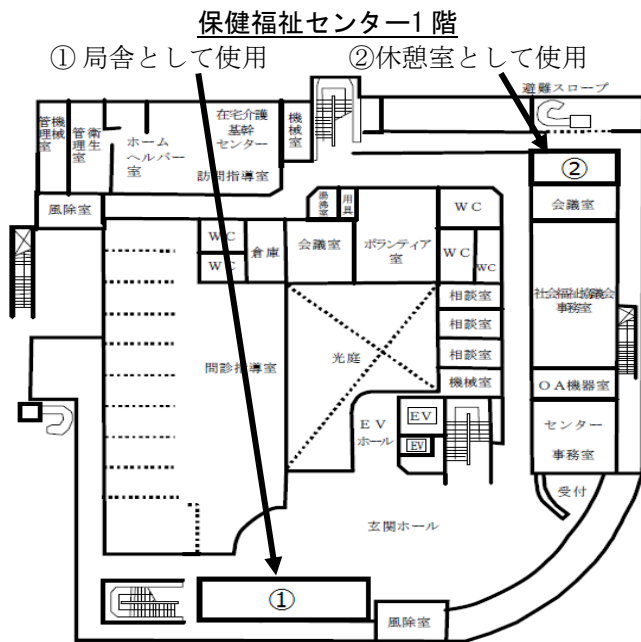
6月28日、議会最終日に議員定数削減の議提議案が出され、賛成多数で可決致しました。

この議員定数削減は昨年9月の改選以降、議会活性化特別委員会、小委員会で長期に亘り議論され多くの会派が2名減に合意し従来の26名から24名(平成27年改選時から)となりました。今後も、市民のために、さらなる議会活性化に向け議論してまいります。

2. 戸籍の証明書、住民票の写し等の引渡しを 取り扱う郵便局の指定

みどり郵便局が保健福祉センター内に移動することが概ね合意となりました。この事業は行革推進プランのシンボル事業の一つとして、この郵便局で戸籍の証明書や住民票の写し等を発行できるようにするもので、賛成多数で可決成立しました。

《賃貸箇所図》



3. 副市長の給与に関する条例の一部改正

今年4月に再任された 高橋 副市長の給料月額7%を減額する提案が行われ、賛成多数で可決成立しました。施行日は7月1日からとなります。なお、再任からの3か月間(4～6月)は給与7%相当額を自主返納されています。

4. 市道の変更

道路パトロール強化等により、過去の宅地造成(環境創出行為)などで市道の認定要件を満たした道路11か所をこの度、市道に変更する提案がなされました。賛成全員にて可決成立しました。なお、新たに認定された場所は下記となります。

変更された市道路線一覧

No.	路線名(市道)	変更された起点・終点		延長距離(m)
		起点	終点	
1	131	三屋字西久保 66-5	戸川字松下 387-2	114.2
2	139	戸川字桃木原 864	戸川字尊仏松 721-1	54.6
3	178	戸川字流 555-11	戸川字流 564-9	162.9
4	313	水神町 1512-1	曾屋字浄屋 679-3	222.6
5	507	南矢名字宿 374-31	南矢名字京塚 270-5	107.4
6	572	南矢名字切ヶ谷 760-1	南矢名字切ヶ谷 730-2	210.0
7	630	緑町 628-6	平沢字同明 1184-5	195.0
8	640	清水町 912-2	今泉字小藤川 624-1	305.3
9	684	今泉字石原 931-1	今泉字舟久保 903-1	67.4
10	806	堀西字角開戸 1146-1	堀西字欠畑 1071-ロ	139.7
11	885	渋沢字荒在ヶ 1138-3	渋沢字下ノ庭 1884-1	242.3

5. 印鑑条例等の一部改正

外国人登録法の廃止に伴い、外国人住民における印鑑登録の事務手続きに係る規定を改正するもので、ある一定の条件をクリアする外国人は、今後、住民基本台帳に登録されるというものです。賛成全員で可決成立致しました。(施行日：7月9日)

市民プールで暑さを乗り切ろう！

7月1日(日)～9月2日(日)の期間、秦野中央運動公園内の市営プールがオープンします。是非、ご利用下さい。



平成24年 第2回定例会 一般質問内容 やひろ伸二



持続可能な街づくりについて

本市の厳しい財政状況下で、市民サービスを継続するため行財政改革をどのように進めているのか、「持続可能な街づくり」の観点から質問を行いました。

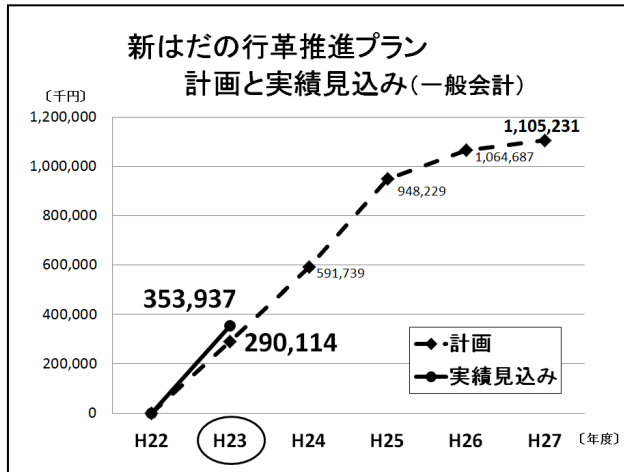
1. 行革推進プランの進捗状況について

〔質問〕

- (1) 「新はだの行革推進プラン」の進捗管理は？
- (2) 上下水道の事業統合が4年後(平成28年度)に計画されているが、現在の進捗状況は？
- (3) 公共施設再配置計画のシンボル事業に西中学校体育館と西公民館の複合施設建設があるが、今後どのような方針で取り組んでいく予定か？

〔回答〕

- (1) PDCAサイクルにより進行管理を実行しており、6月に外部評価、10月には次年度に向けての内部評価を行う。今後、行政改革評価委員会による外部評価を経て評価結果報告書が提出されるので公表していく。
- (2) 昨年度は、上下水道両部局の課長補佐級職員などを中心に検討を進めてきた。この検討を通じ、体制や庁舎など新たな検討課題や統合の手法が見えてきた。今年度は、組織や人員、特に多大な作業を要する下水道事業の企業会計制度への移行時期、庁舎などの検討課題を十分に議論し庁内合意を得ていきたい。
- (3) 民間の力を活かした公共施設の整備手法としては、全国で最も多く使われている「PFI方式(※1)」が考えられる。それ以外に、敷地を民間会社へ貸出し、その賃貸料で公共施設の建設費を賄うような事例もある。この場所は駅から近く、国道にも面しており立地条件が良い。この好条件を活かしプロポーザル方式(※2)などにより、より良いアイデアと可能性を検討していきたい。



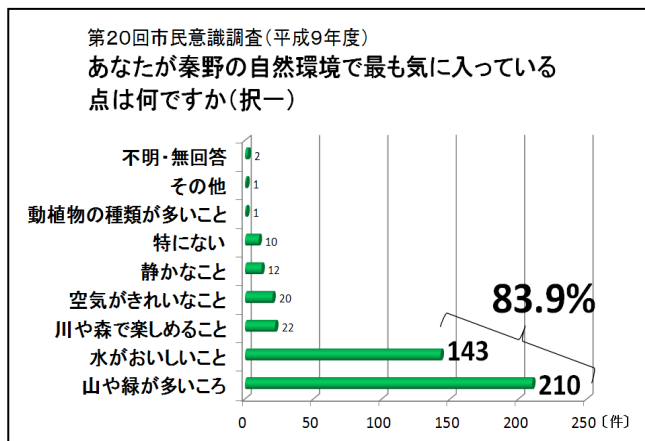
※1:PFI (Private Finance Initiative)方式
 国や地方自治体の代わりに公共サービスの提供を委託させる方式をいう。公共施設等の建設から維持管理、運営等を民間の資金や経営能力及び技術的能力を活用して公共サービスを提供してもらうこと。

※2:プロポーザル(Proposal)方式
 業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

意見要望

複合施設建設では「民間活力の導入の可能性に関する市場調査」の結果や他市の事例を踏まえ、今後も市民へ分かり易く進捗を伝えるようお願いする。また、上下水道の統合については、効率向上を重視した統合が重要であり、再度統合の課題を整理し、計画的に進めるようお願いする。

2. 自然との共生について



〔質問〕

- (1) 本市の市民意識調査(平成9年度実施)でも分かるように、市民は、自然に恵まれた緑豊かで水が美味しい、この秦野を心から気に入っている。これまで「はだの森林づくりマスタープラン」で実行してきた成果は？

〔回答〕

- (1) 平成9年の事業開始から15年を経過した現在、県が策定した本市の整備目標面積の約60%の森林整備が実施できた。里山保全再生では、平成17年度11団体だったボランティア団体も現在では30団体を超えている。さらに、平成20年度から市植樹祭を行い、約4,500人の方々の参加を得ており、全国植樹祭を契機に、環境・森林保全への市民意識の高揚や市民力、地域力が生まれ一定の成果を上げている。

意見要望

環境共生専任参事が今年4月、環境省から着任されました。これまでの豊富な経験を活かしエネルギー循環型の街となるような希望を持てるプロジェクトづくりをお願いする。

◆秦野市議会 議会中継システム：<http://www.hadano-city.stream.jfit.co.jp/>